

1 はじめに 【熊本博物館と学校との よりよい連携を求めて】

本書「派遣授業：学習プログラム集(2016)」は、熊本市内の小・中学校と熊本博物館との連携を、より一層深めるために作成したものです。

変化の激しい現代社会に置かれた子どもたちが、互いに協力しながら主体的に生きる力・生き抜く力を獲得するための一助として、また、日頃の学習に対する興味・関心を高め、学習指導の充実に寄与したいとの思いを込めました。

前回の学習指導要領でも「博学連携」の動きは明示されておりましたが、今回の改訂では学校と博物館の積極的な連携および、関連する教科・領域における学習での活用を促す表現がさらに強調されています。

そのことを踏まえ、総合博物館である本館が有する多種多様・貴重な資料や収蔵品の中から、主に小学校の社会科や理科の授業で活用可能な資料を見つめ直し、学芸員・研究員が作成した教材・教具と併せて本冊子の中で紹介しています。また、それらを活かした展開概略なども例示しています。

平成 26 年度・27 年度は小学校のモデル校 2 校での試行的実践でしたが、平成 28 年度からは市域全体に実践範囲を広げ、より多くの学校で授業を通じた交流ができるよう願っています。ゲストティーチャー派遣授業を希望される場合は熊本博物館までご連絡ください。

ただし、平成 29 年末に予定しているリニューアルオープンに向け、館内で優先的に取り組まなければならない業務も多岐にわたり、日程調整がつかない等の理由でご希望に添えないことも多々あるかと存じます。その際は何卒ご理解・ご容赦ください。

本書によって熊本博物館を一層身近に感じていただき、よりよい「博学連携」ができますようにと願っています。

なお、本館の様々な取り組みにつきましては、熊本博物館のホームページ (<http://webkoukai-server.kumamoto-kmm.ed.jp>) でも紹介しておりますのでこちらもご利用ください。

2016 年 3 月吉日
熊本博物館